

## 旧芝離宮、浜離宮恩賜庭園のご紹介

かながわ健生クラブ

旧芝離宮恩賜庭園(大名庭園)、浜離宮恩賜庭園(徳川家の庭園)の歴史散策を紹介します。この時期は両庭園共に桜が見頃を迎えます。一緒に江戸の風雅と潮風そよぐ恩賜庭園の散策を楽しみましょう。

### 旧芝離宮恩賜庭園:

小石川後樂園と共に、今東京に残る江戸初期の大名庭園の一つです。回遊式泉水庭園の特徴をよくあらわした庭園で、池を中心とした庭園の区画や石の配置は、非常に優れています。明暦の頃に海面を埋立て、老中・大久保忠朝が4代将軍家綱から拝領しました。庭園は「楽壽園」と呼ばれていました。

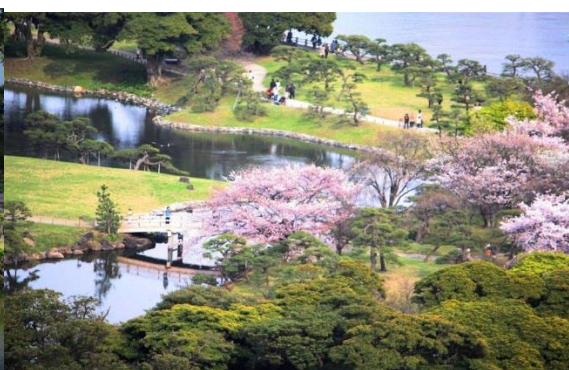
### 浜離宮恩賜庭園:

潮入の池と二つの鴨場をもつ江戸時代の代表的な大名庭園。潮入の池とは、海水を導き潮の満ち干によって池の趣を変えるもので、海辺の庭園で通常用いられていた様式です。池に実際に海水が入りしているのは、ここだけです。

「潮入りの池、お伝い橋と中島の御茶屋、燕の御茶屋、三百年の松、鴨場」等、見所が沢山あり1年を通して外国人を含めた多くの来園者があります。



旧芝離宮恩賜庭園



浜離宮恩賜庭園



燕の御茶屋



中島の御茶屋